

旬スタ!!



マンホールカード

ご当地デザインで大人気

デザインを気にする人など、ほとんどいないと思われるマンホールのふた。しかし、下水道マンホールを管轄する自治体が、ご当地ならではの意匠や色合いを工夫する動きは、1970年代には目立ち始めていたという。滑りにくいカ、ベビーカー

が引つかからないか。機能性にも配慮しながら、楽しくて見飽きないデザインがふたが増えていった。それらをカードにしよう、と考えたのが関係団体でつくる下水道広報プラットホーム。昨年4月に30種を配ったところ評判に。8月に44種、

12月に46種が追加された。企画運営委員の山田秀人さんによると、「カードに位置情報を入れたのでマンホールの場所まで行けます。実際に見に行く人も多いようです」。

カードを取得するには、それぞれの自治体に出向く必要がある。全カードゲットはかなりの難題だが、それに挑むコレクターも増えているそうだ。

(依光隆明)